◆ 目次 ◆

- 1 齊藤純在モンリオール日本国総領事挨拶
- 2 当面の休館日
- 3 領事窓口時間等の変更について
- 4 領事だより
 - (1) 日本へ入国・帰国される方々へ
 - (2) 領事出張サービス実施予定のお知らせ (QC 州、PEI 州)
 - (3) 在留届の届出内容に変更はありませんか？
 - (4) ヘイト事案の被害に遭ったら
 - (5) モンリオール日本語センターからのお知らせ
 - (6) モンリオール日本語補習校からのお知らせ
 - (7) モンリオールにおけるプラスチック袋廃止について
- 5 広報・文化だより
- 6 当館管轄 5 州の政治
- 7 当館管轄 5 州の経済

* * * * *

1 齊藤純在モンリオール日本国総領事挨拶

皆さまこんにちは。

着任して一年が経ちました。在留邦人の皆さま、ケベック州をはじめとする管轄州政府関係者、そしてなにより（身内の話で恐縮ですが）総領事館のスタッフに支えられて、なんとか大過なく過ごせたと思っています。ありがとうございます！

昨年着任した頃はちょうど紅葉も終わりつつあったようで、そもそも地理不案内な上、自家用車もなかったので出歩くこともできず、残念ながら世界的に有名な景色を楽しむことができませんでした……。今年は満を持してあちこち巡って紅葉を満喫し、これでケベックの四季をひととおり体験できたと考えています。日本ではもっぱら京都の寺院の紅葉や神宮外苑の銀杏並木を愛でていたクチなので、山や丘がパッチワークのように様々な色に染まっていたり、少し距離を置いて見ると一本の木があたかも燃えているように見えるのを目の当たりにして、世界中から観光客がやってくるのもよくわかりました。

そうして二回目の冬に突入していくわけですが、去年は特に地元の方々のアドバイスに従ってなるべく外に出て楽しんでいたのですが、今年はその好奇心や元気が果たし

て持続するか、多少心許ないです。この先コロナやインフルエンザがどうなるかは予断を許しませんが、それでも最終的にロックダウンにまで至ってしまった昨年よりは恵まれた状況にあると思うので、自分のペースでエンジョイしたいです。

先日ようやくノヴァスコシア州を公式訪問しました。滑り込みセーフで着任一年で管轄5州の全てに足を踏み入れたことになります。回を重ねるごとに公式訪問のコツのようなものを掴んできたので、今回の訪問は事前にじっくり計画を練ったおかげで、多少のハプニングはありましたが、大変充実したものとなり満足しています。ハリファックス市内ではハリケーン・フィオナの爪痕はそれほど残っていませんでしたが、州首相をはじめ関係者に日本からのお見舞いの意を伝えました。

ケベック州では今月初めに州議会選挙がありましたね。地元のニュース専門テレビ局は数日前から選挙一色で、日本の国政選挙並みの力の入れようだと感じました。結果は皆さまご承知のとおりで、私にとっては選挙戦を通じてケベック州の統治構造という政治状況がよく理解できるようになり、観察者として勉強になる日々でした。昨年秋のモントリオール市長選の後もそうだったのですが、候補者のポスターをそのままにしておくのはなんとかしてほしいものです・・・。

どこの任地でもたいていそうなのですが、秋は行事が多いです。当地もご多分に漏れず、夏休み明け以降週末も含めてかなりお呼びがかかります。様々な人に出会えますし、招待客ならではの体験ができるので、時間が許す限り足を運んでいます。この前週末の夜に会場で隣席になった同僚の総領事夫妻は、コロナが収まってきたのでコロナ前の秋よりさらに行事が立てこんでいて、一体いつ休んだらいいの！と夫人が私に向かって悲鳴を上げていました。総領事の方は、「自分もつばら愚痴の聞き役だよ・・・」とぼやいていました。私は幸か不幸か単身赴任なので愚痴の相手もおらず、ここでこうして少しガス抜きをさせていただいています。

マルシェが好きで、これまでの任地でもよく足を運んでいたのですが、季節が進むとともに果物のみずみずしさが失われていき、楽しみがひとつ減りました。これからは中南米産の果物が店頭に並ぶのでしょうか。それも悪くないのですが、やはりオルレアン島産のイチゴやケベック州産のブルーベリー、オンタリオ州産の桃などが消えていくのはさみしい感じがします。

そして道路工事は続くよどこまでも・・・といった感じで、公邸周辺でもある通りがやっと終わったと思ったら別の通りが始まったりして、雪が積もり始める間に終わるのかなあ・・・と気を揉んでいます。といっても公邸の目の前でドカドカやっているわけではないので直接の「被害」には遭っていませんが・・・。道路工事を巡る自虐ネタはモントリオール市民の定番のようですね、さんざん聞かされています。

年末にかけて各種国際会議が当地で開催されることになっていて、日本からの要人訪

問も予定されています。最近では日本の地方自治体の訪問団もお見えになっています。カナダ全体を語る資格はまだありませんが（といっても勉強してひととおりは話しています）、連邦制の特色や、特にケベック州の独自性をできるだけ客観的に説明して、せっかくここまでいらした方々にケベック州や大西洋諸州への理解を多少なりとも深めてもらうよう努めています。そしてケベコワをはじめとする管轄州の方々に対しては、いよいよ日本への渡航もほぼコロナ前と同じ条件に戻ったことを説明し、日本のホスピタリティ産業はみなさんのお越しをお待ちしています！とPRして、知日派・親日派を増やすとともに日本のインバウンド需要を喚起するべく微力を尽くしています。

今年のハロウィンは好天に恵まれるといいですね。それではまた。

2 当面の休館日

- 11月11日（金） Remembrance Day
- 毎週土日

3 領事窓口時間等の変更について

2020年4月以来、新型コロナウイルス感染症の感染拡大とケベック州の各種規制を受け、領事窓口受付時間を短縮してきましたが、2022年3月28日（月）から、通常化しています。

詳しくは以下をご覧ください。

(1) 受付時間

【査証を除く、申請の受付】

9時～12時、13時30分～16時30分

【査証を除く、交付・受領】

9時～12時30分、13時30分～17時

【査証の申請受付と交付・受領】

9時～11時30分、13時30分～16時

(2) 標準処理日数

●旅券

申請日の翌開館日を1日目として、5開館日目に交付します。

（例：月曜日申請→翌週月曜日交付）

●証明

申請日の翌開館日を1日目として、3開館日目に交付します。

(例：月曜日申請→木曜日交付)

●査証

申請日の翌開館日を1日目として、原則として、5開館日目に交付します。

(例：月曜日申請→翌週月曜日交付)

(3) 予約制の一部導入

当地の規制緩和及び日本における水際措置緩和に伴い、来館者が増加しております。来館者及び当館館員の感染リスクが高まることを可能な限り防ぐため、領事待合室に来館者が長時間滞在されることのないようにいたします。

このため、2022年3月15日(火)から、当面の間、一部の取り扱いについて予約制を導入しています。あらかじめ当館領事班にご連絡いただき、ご予約ください。

(i) 対象となる取り扱い

- ・在留証明の申請
- ・署名証明の申請
- ・警察証明の申請
- ・戸籍国籍関係の届出

(ii) 予約方法

当館領事班に、Eメールまたは電話でご連絡をお願いします。

【Eメールアドレス】 consul@mt.mofa.go.jp

【電話番号】 514-866-3429

4 領事だより

(1) 日本へ入国・帰国される方々へ

新型コロナウイルス感染症の水際対策により、日本への入国・帰国前から事前の準備が必要です。詳しくは当館ホームページをご覧ください。

【当館ホームページ】

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/coronavirus_jp.html

(2) 領事出張サービス実施予定のお知らせ (QC州、PEI州)

当館は、2022年11月にQC州ケベックシティで、12月にPEI州シャーロットタウンでそれぞれ領事出張サービスを開催する予定です。

詳しい情報は以下のURLをクリックしてご覧ください。

<https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday.html>

なお、2023年3月にNS州ハリファックスでも領事出張サービスを行う計画ですが、詳細は未定です。

(3) 在留届の届出内容に変更はありますか？

外国に3か月以上滞在する日本人は、お住まいの地域を管轄する在外公館に在留届を提出することが義務づけられています。在外公館は、在留届をもとに、日本人の皆様が不慮の事故や事件、災害に遭遇した際の安否確認、日本国内連絡先への緊急連絡等を行っています。そのためには、在留届の記載内容が常に最新の状態であることが重要です。

在留届を提出されている在留邦人の皆様のうち、在留届を窓口・郵送・ファックス・Eメールで当館に提出された方におかれては、届出内容に変更が生じた場合は、速やかに当館にご連絡くださるようお願いいたします。

なお、インターネット上で提出された方におかれては、ご自身でインターネットにて手続きをお願いいたします。

災害や騒乱等が発生した際、ご家族、ご友人、同僚を守るため、一人でも多くの方に安全対策に関する情報が届くよう、在留届（3か月以上の滞在）の届出、またはたびレジ（3か月未満の滞在）の登録を、お知り合いの方や出張者・旅行者にご案内いただけますようお願いいたします。

(4) ヘイト事案の被害に遭ったら

ヘイト事案とは、人種、出身国、民族、言語、皮膚の色等を理由とすると考えられる、嫌がらせ行為（犯罪には該当しないもの）をいいます。当館の管轄地域でも、これまでに数例ですが日本人（アジア人）に対するヘイト事案と疑われるケースが報告されています。

ヘイト犯罪・事案を防止するためには、ヘイト事案を治安機関に報告し、行為者の情報を蓄積していくことが重要です。ヘイト事案の被害に遭ったがどこに相談すればいいかわからないという場合は、当館までご連絡ください。警察等の窓口を紹介いたします。

(5) モントリオール日本語センターからのお知らせ

モントリオール日本語センターは、オンラインにて第3回カナダ・こどもスピーチコンテストを開催いたします。

テーマは「日本のみんなに伝えたい・教えたいこと」

カナダ全土に在住の日本語でスピーチができる、小学1年生から高校3年生(2004年4月2日～2016年4月1日生まれ)のお子様に参加できます。

児童低学年の部・高学年の部・中高等の部の3部門あり、各部門の最優秀賞にはギフトカード、記念品の贈呈があります。また、参加者全員に参加賞をお送りいたします。

詳細は、コンテストチラシ (<https://bit.ly/3RQ740j>) をご覧ください。

ご登録はこちらから→ <https://bit.ly/3bt0D2e>

応募締め切りは10月30日(日)までです。

日本語で思いを伝えたい生徒さん、ご応募をお待ちしています！

(6) モントリオール日本語補習校からのお知らせ

モントリオール日本語補習校では11/12(土)に来年度(2023年4月)の新入学希望者を対象とした入学説明会を実施致します。ご希望の方は11/1(火)までにお申し込みください。詳しくはHPをご覧ください。

連絡先：info@hoshuko.ca

HP：<http://mtljpschool.web.fc2.com/>

(7) モントリオールにおけるプラスチック袋廃止について

●モントリオール市では、2018年以降、厚さ50ミクロン以下のプラスチック袋、酸化分解性袋を禁止してきましたが、昨年、同市議会は、全てのプラスチック袋を禁止する条例を採択しました。

●同条例の施行を受け、2022年9月27日より、モントリオール市では、プラスチック袋の厚さや分解性に関わらず、小売店(衣料品店、靴店、金物店、食料品店等)と、テイクアウトや宅配を含む飲食店は、顧客へプラスチック袋を提供することが禁止されています。

●以下の種類の袋は規制適用の対象外とされています。

・果物、野菜、ナッツ、バラ売り菓子、惣菜、肉、魚、パン、乳製品等の食品が他のものに直接触れないように保護するための袋

・再利用可能な買い物袋

・リサイクル可能な紙製買い物袋

●プラスチック袋を提供した企業は、200～1000ドルの罰金、再犯の場合は最高2000ドルの罰金が科せられる可能性があるとのこと。

5 広報・文化だより

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を（ culture@mt.mofa.go.jp ）までお知らせください。毎月末までに原稿をいただければ翌月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

(1) 当館は、以下の SNS 公式アカウントを開設しています。日本や当館の活動に関する情報を随時発信しています。

●YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UC5Fc52skP5w8otfowcN30ag>

●ツイッター

<https://twitter.com/JaponMontreal>

●フェイスブック

<https://www.facebook.com/JapanConsMontreal>

(2) 写真展「京都の庭園の四季」(ケベック市)

*あと残り数日で終了します！

京都府と友好提携を結んでいるケベック州の州都、ケベック市において、国際交流基金トロント文化センターが所蔵する水野克比古撮影「京都の庭園の四季」写真展を開催しています。ケベック州議会が共催し、京都府から提供の写真6点も追加展示中です。(入場無料)

期間：9月2日(金)～10月24日(月) *日曜を除く毎日

場所：ケベック州議会

Assemblee nationale du Quebec

Hotel du Parlement

1045, rue des Parlementaires, Quebec

<http://www.assnat.qc.ca/fr/visiteurs/programmation-citoyenne/quatre-saisons-des-jardins-de-kyoto.html>

(3) カナダ巡回日本映画祭(モントリオール)

国際交流基金トロントとの共催で、カナダ巡回日本映画祭を開催します。入場無料、先着順で御入場いただきます。

場所：Cinematheque quebecoise

335 De Maisonneuve Blvd East, Montreal, QC

<https://www.cinematheque.qc.ca/en/cycles/japanese-film-festival/>

(ア) 日時：10月28日(金) 18時

「3ft Ball & Souls (三尺魂)」(2017/93分/英語字幕)

監督：加藤悦生 出演：村上穂乃佳、木ノ本嶺浩、辻しのぶ、津田寛治ほか

(イ) 日時：10月29日(土) 13時

「La Ballade de Narayama (檜山節考)」(1983/131分/フランス語字幕)

監督：今村昌平 出演：緒形拳、坂本スミ子、左とん平ほか

(ウ) 日時：10月29日(土) 15時45分

「The Town of Headcounts (人数の町)」(2020/111分/英語字幕)

監督：荒木伸二 出演：中村倫也、石橋静河、立花恵理、山中聡ほか

(4) 日本関連行事等のお知らせ

*以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問い合わせください。

*外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様へのご参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんのでご了承ください。

●Yayoi Kusama: DANCING LIGHTS THAT FLEW UP TO THE UNIVERSE

草間彌生に関する展示が行われます。入場無料ですが、事前予約が必要です。

期間：7月6日(水)～2023年1月15日(日)

場所：PHI Foundation

451 Saint-Jean Street, Montreal

<https://phi.ca/en/events/yayoi-kusama/>

●Jardins de lumiere (Gardens of Light) 「Une ode a la Lune (An ode to the Moon)」

期間：9月2日(金)～10月31日(月) 19時～22時

場所：モントリオール市立植物園日本庭園・先住民庭園・中国庭園

(植物園入園料がかかります。)

4101 rue Sherbrooke Est, Montreal

<https://calendrier.espacepourlavie.ca/gardens-of-light-941029>

●いけばなインターナショナル10月例会

Raynald Donais氏による池坊デモンストレーションが行われます。

日時：10月28日(金) 13時

場所：Centre Communautaire Monkland

4410 ave. West Hill, Montreal

電話：514-872-8588

参加費：20ドル

連絡先：田中和子氏 (kazuko.dorangeville@gmail.com)

●モントリオール国際旅行博

日本政府観光局(JNTO)トロント事務所が出展し、日本の観光案内を行います。

期間：10月28日(金)～30日(日)

場所：Palais des congres

1001 Place Jean-Paul-Riopelle, Montreal

<https://salontourismevoyages.com/en/>

●餅つき

モンリオール日系文化会館の恒例行事、餅つきが開催されます。

日時：11月5日（土）

ティールーム：13時～17時（もしくはお餅がなくなるまで。）

場所：モンリオール日系文化会館

8155 Rue Rousselot, Montreal

ボランティアを募集しています。

https://docs.google.com/forms/d/1jpCtJzb_KkzcxcicLxG0kS42gw-m23IK52eQLYjAPI0/edit

今年は3年ぶりの開催ということもあり、お餅の生産量を制限しています。ご注文についての詳細はこちらからご確認ください。

Jcccm_yh@bellnet.ca

●抹茶ワークショップ

4つのグレードの違うお抹茶と5種類の和菓子をお楽しみいただけます。

日時：11月20日（日）10時45分～12時、13時～14時15分

場所：Bistro Otto

143 Avenue du Mont-Royal E, #200, Montreal

<https://www.eventbrite.ca/e/atelier-101-the-matcha-et-desserts-japonais-par-reina-sakao-et-maya-furuta-tickets-405300624077?aff=jp>

●ランゲージ・エクスチェンジ（仏語－日本語）

ラヴァル大学院生が主催するオンライン・ランゲージ・エクスチェンジが、毎週土曜日朝8時（カナダ東部時間）から開催されています。

<https://www.meetup.com/en-AU/canasian-station/>

問い合わせ先：Pascal Paradis 氏（pascal.paradis.2@ulaval.ca）

●国際交流基金トロント日本文化センター主催（オンライン）イベント

日本語教師向けにワークショップや情報交換会が随時開催されています。

<https://jftor.org/language/teachers/>

その他、様々なオンライン・イベントが随時開催されています。詳細はこちらからご確認ください。

<https://jftor.org/>

6 当館管轄5州の政治

(1) ケベック(QC)州

- ・9月8日、州内で、モデルナ製オミクロン株対応コロナワクチンの使用開始。
- ・9月9日、市民権専門の Julius Grey 弁護士は、仏語保護強化を目指す法案 96 のいくつかの条項廃止を求め州政府を提訴。同法に対する訴訟は 3 件目。争点となるのは、州仏語局 (OQLF) が新たに与えられた、特に弁護士とその依頼人との間の法的特権によって保護される文書を捜索・押収する権限、全ての裁判資料を仏語で作成することを義務付ける条項や、裁判官のバイリンガル要件廃止条項。
- ・9月10日、州議会で写真展「京都の庭園の四季」のオープニング式典が開催され、齊藤総領事とパラディ州議会議長が出席。QC 州は京都府と友好提携を結んでいる。
- ・9月26日、ルゴ州首相は、ハリケーン「フィオナ」通過にともなう暴風雨で被害を受けたマダレン諸島を視察。

(州総選挙関連)

- ・9月2日、ルゴ州首相率いる与党ケベック未来連合 (CAQ) は、全ての州民がかかりつけ医を持てるようにするという 2018 年総選挙時の公約は、実現不可能であると認めた。
- ・9月3日、ルゴ州首相は、交通電化と産業界の排出量削減努力による水力発電需要の拡大に対応するため、新たなダム建設の可能性を検討するようハイドロケベックに要請すると発言。
- ・9月6日、ケベック連帯 (QS) は、格差対策として、100 万加ドル以上の純資産を持つ人、および遺産相続に対する新たな課税を提案。
- ・9月8日、ルゴ州首相は、遊説先のヴィクトリアヴィルで、移民受け入れ数を年間 5 万人に抑える CAQ の提案に関連し、「ケベック州人は平和的で、けんかを好まず過激派を好まない」と発言。他党は、移民と暴力を結びつける発言であるとしてルゴ氏を非難。28 日、ブー州移民大臣は、21 日にモーリシー地域で開催された討論会で「移民の 80% はモントリオールに行き、働かず、仏語を話さず、QC 社会の価値観に従わない」と発言したことを謝罪。

(2) 大西洋諸州

- ・9月19日、エリザベス英女王国葬の日、大西洋 4 州で休日となった。
- ・9月23～24日、ハリケーン「フィオナ」接近・上陸にともなう記録的な暴風雨により、大西洋州と QC 州の一部で大規模停電、洪水、倒木、通信障害等甚大な被害 (10 月 3 日現在、PEI, NS 州の一部で引き続き停電中) が発生。特に被害が大きかった NL, PEI, NS の 3 州政府はカナダ軍の出動を要請、兵士数百人が同地域で復旧作業を支援する。

(3) ニューファンドランド・ラブラドール (NL) 州

- ・9月12日、イヌ・ファーストネーションに対する差別的な発言で、州自由党を離党していたリンパー議員が復党。
- ・9月14日、州保健局は、9 月中にモデルナ製オミクロン株対応コロナワクチンの使用を開始すると発表。

(4) プリンズエドワードアイランド(PEI)州

- ・9月8日、コロナ陽性時の隔離期間が原則7日から5日に短縮される。
- ・9月11日、州保健局は、近日中にモデルナ製オミクロン株対応コロナワクチンの使用を開始すると発表。

(5) ノバスコシア(NS)州

- ・9月15日、65歳以上に対する、モデルナ製オミクロン株対応コロナワクチンの予約開始。21日、対象が18歳以上に引き下げられる。
- ・9月21日、州政府は連邦政府に対し、連邦移民拘留者を州刑務所に収容する契約を終了すると通告。刑事責任が問われていない移民拘留者を刑務所に収容することについては、人権問題が指摘されてきた。今年7月に同様の決定をしたBC州に次いで国内2番目。

(6) ニューブランズウィック(NB)州

- ・9月14日、50歳以上と一部のハイリスク層に対する、モデルナ製オミクロン株対応コロナワクチンの使用開始。
- ・9月27日、セントジョン市議会は、ほとんどの市職員の週4日勤務制を全会一致で承認。10月17日より、従来の勤務時間数のまま月曜日から木曜日までの4日間で集中的に勤務する。1年間は試行期間とし、その後継続の可否を判断する。
- ・9月29日、州政府は、インフレと金利の急速な上昇により、2021年度会計年度、史上最高となる7.7億加ドルの黒字を計上。

【各州世論調査結果（未確定分は除く）】

(1) 州政党支持率

- ・QC州（レジェ(Leger Marketing)調べ（以下同じ）、9月6～12日）：ケベック未来連合(CAQ)38%、自由党(PLQ)18%、ケベック連帯(QS)17%、ケベック保守党(PCQ)15%、ケベック党(PQ)11%、その他1%
- ・QC州（9月16～18日）：CAQ38%、PLQ16%、QS16%、PCQ16%、PQ13%、その他1%
- ・QC州（9月23～25日）：CAQ37%、QS17%、PLQ16%、PCQ15%、PQ15%、その他0%

(2) 連邦政党支持率

- ・QC州（9月16～18日）ブロック・ケベコワ(BQ)34%、自由党28%、保守党25%、NDP8%、緑の党2%、その他4%

7 当館管轄5州の経済

(1) QC州

- ・9月6日、州政府も出資する仏貨物飛行船開発のFlying Whales(FW)は、電気駆動飛行船LGA60Tの動力源となる1MWターボジェネレータの開発に、プラット&ウィットニー・カナダ(P&WC)を採用。

- ・9月7日、電気バス製造のレテンダ(Letenda、本社ロングイユ)は、米バーモント州より全長9m、走行距離250kmの100%電気モデル「Electrip」4台を受注。部品の最低70%は米国製である必要があり、サグネ工場で組み立てを行い2024年までに納品予定。
- ・9月7日、モンリオールを拠点とするVPorts社は、2030年までに州内に電動「空飛ぶタクシー」向けインフラネットワーク構築を目指す、1.5億ドルのプロジェクトを発表。
- ・9月15日、HQの子会社でバッテリーによるエネルギー貯蔵システムに特化するEVL0は、最初のプロジェクト「Tonnerre」をフランスで開始。Innergex社(本社ロングイユ)との共同開発で、蓄電容量は9MW/9MWh、4800世帯の1時間分の電力に相当。
- ・9月21日、日立エナジーは、QC州と米ニューヨークを結ぶ高圧直流送電(HVDC)連系線「Champlain Hudson Power Express(CHPE)」における、ニューヨーク側のHVDC変換所を受注。CHPEは、QC州からシャンプレヌ湖、ハドソン川を經由し、ニューヨーク都市圏までの約600kmを地下および河川下経由で送電するプロジェクト。
- ・9月22日、ゼネラルモーターズ(GM)は、初のバッテリー回収・リサイクル工場の2023年完成を目指すリチオン(Lithion、本社モンリオール)に出資。出資額は明らかにされていない。
- ・9月27日、2030年までに「ごみゼロ」を目指すモンリオール市で、小売店や飲食店(テイクアウトや宅配含む)が、厚さや分解性に関わらず、プラスチック袋を顧客に提供することを原則禁止する条例が施行された。
- ・9月27日、豪鉱山企業サヨナ(Sayona)は、ラコルヌ(La Corne、アビティビ地域)リチウム鉱山の採掘・運営についてL. Fournier & Filsと4年間、2億ドルの契約を締結、リチウム生産再開が可能に。
- ・9月29日、バイオ医薬品企業Ventus Therapeutics(本社モンリオール、ソフトバンクも出資)は、同社のNLRP3(免疫系タンパク質)阻害剤プログラムを使った治療薬の開発および商業化に関し、製薬大手ノボ・ノルディスク(Novo Nordisk)と7億米ドル超の契約を締結。

(2) 大西洋諸州

- ・9月1日、大西洋4州首相は、温室効果ガス排出量削減計画の提出期限延長を求める書簡を連邦政府に送付するも、拒否される。各州は期限の2日までに計画を連邦政府に提出。
- ・9月16日、ウエストジェットは、10月28日よりハリファックス・モンリオール便を、2023年1月上旬にハリファックス・オタワ便とハリファックス・セント・ジョンズ便をそれぞれ運休にすると発表。
- ・9月16日、連邦政府は、低所得世帯が化石燃料から電気ヒートポンプ等の環境にやさしく、より安価な暖房システムに移行するのを支援するために2.5億加ドルを支出すると発表。うち1.8億加ドルは、暖房に石油を使うことがまだ一般的な大西洋州に充てられる。

(3) NL州

- ・9月2日、州内唯一の製油所(Come-By-Chance(ニューファンドランド島東部))で爆発事故が発生、8人の作業員が病院に運ばれた。同製油所はパンデミックで一時的に閉鎖された後に2021年に売却され、Braya Renewable Fuelsの新社名で、植物油等を原料とし

た再生可能ディーゼルを製造する工場に改装中であった。

・9月21日、豪石油ガス大手の Woodside は、ニューファンドランド島北東に位置するオーファン海盆での掘削計画を取り下げる。2018年、英豪系 BHP ビリトンは、州史上最高の6.2億ドルの単独入札を含む2区画合計8.2億ドルを落札したが、その後2021年、BHP は Woodside に石油ガス事業を売却していた。

・9月28日、州政府は、ハリケーン「フィオナ」で家や財産を失った州民を対象とした3000万加ドルの救済プログラムを発表。まずは緊急一時金として、避難先から9月30日までに帰宅できる世帯に1000ドル、帰宅できない世帯に1万ドルを支給する。対象者はカナダ赤十字を通して申請する。

(4) PEI 州

・9月4日、PEI 州と NS 州を結ぶフェリー航路で、7月に火災が発生したフェリーとは別のフェリー「MV Confederation」がステアリング不具合のため停止し、乗客が約8時間海上で足止め。

・9月20日、州政府は、最低賃金を2023年1月1日に80セント増の時給14.50加ドル、10月1日に50セント増の時給15加ドルに引き上げると発表。

・9月28日、州政府は、ハリケーン「フィオナ」で被災した州民を対象とした500万加ドルの救済プログラムを発表。各地のコミュニティ組織に分配、また緊急一時金を公的扶助利用者や高齢者等の対象者に別途支給する。

・9月30日、州政府は、「フィオナ」で経済的に影響を受けた世帯に250加ドルを支給すると発表。対象者はカナダ赤十字を通して申請する。

(5) NS 州

・9月14日、ケープ・ブレトン島のドンキン炭鉱が2年ぶりに操業再開。

・9月20日、州政府は、洋上（オフショア）風力発電開発を開始すると発表。グリーン水素開発を支援するため、2030年までに5ギガワット（現在の州の発電能力は全体で2.5ギガワット）のオフショア風力発電リース契約を獲得することを目指す。陸上（オンショア）風力発電開発も継続する。

・9月26日、州政府は、「フィオナ」で被災した州民を対象とした各種プログラムを発表。48時間以上停電した世帯に100加ドル、敷地内の木や瓦礫の撤去費用を負担しなければならない人全員に250加ドル等。また、被害が保険でカバーされない人々を支援する4000万加ドルのプログラムも発表。

(6) NB 州

・9月21日、州政府は、最新の気候変動対策5か年計画を発表。2050年までにネットゼロ、2030年までに新車販売の半分を電気自動車にするという新たな目標が含まれるが、産業界に対する新たな対策はない。

・9月25日、州政府は、「フィオナ」で被害を受けた個人、企業、組織、自治体を対象とした財政支援プログラムを発表。

[在モントリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから、当館に在留届を提出されている方と、当館メールマガジン読者登録をされている方に向けて送信されています。本メールあてに直接返信なされないようお願いいたします。本メールマガジンに関するご意見・ご要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。

emagazine@mt.mofa.go.jp

○メールマガジン読者登録をされている方で、配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止（又は登録解除）」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、emagazine@mt.mofa.go.jp までご連絡ください。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モントリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらをご利用ください。

○メールマガジンのバックナンバーは、以下の URL をクリックすると閲覧いただけます。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ（www.kantei.go.jp）

外務省ホームページ（www.mofa.go.jp/mofaj/）

在カナダ日本国大使館ホームページ（www.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）

当館ホームページ（https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）

当館 Facebook（www.facebook.com/JapanConsMontreal）

当館 Twitter：@JaponMontreal <https://twitter.com/JaponMontreal>

○発行：在モントリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333, Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当（emagazine@mt.mofa.go.jp）までご相談ください。

■-----■